



# 建昌っ子だより

[校訓・キャッチフレーズ] 元気で 力のある 建昌の子

## 「残り姿」～ のこりすがた ～

校長 坂口 利一



三寒四温を繰り返しながら、少しずつ春が近づいてまいりました。建昌の森の桜もつぼみが少しずつふくらみはじめ、あたたかな日差しの中で、校庭を元気に走り回る子どもたちが増えてきました。

3学期も残り少なくなり、学校では進学、進級に向けて子どもたちが最後のまとめに取り組んでいるところです。

さて、『残り姿』という言葉をご存じでしょうか。残り姿とは、「人がそこになくなくても、人がいたところには、その人の心の姿が残る」という意味のようです。例えば、学校の玄関の靴を見てみると、かかとがきちんと揃っている靴や上履きもあれば、雑に置かれたもの、時には片方だけで、もう一方は下に落ちているといったこともあります。脱いだ靴を揃えるというのはマナーといえますが、きちんと揃った靴を見ると、その子どもの立ち振る舞いが美しいなと感じます。本校には、靴だけでなく、掃除棚のほうきや雑巾教室の椅子やかばん棚など、次に使う人への心遣いができている子どもたちがたくさんいます。

学校生活や家庭生活の至るところに『残り姿』があります。無意識に整理整頓などの行為ができるようになれば素晴らしいですね。

本校が誇るべき伝統として「あいさつ・返事・くつそろえ」があります。『残り姿』を「人の目に残る自分の姿である」と考えれば、自分のあいさつはどうか、くつは揃えたかなと、残り姿を意識できるようになりたいものです。

家庭では、脱いだ服はどうでしょうか。机の上は整理されているでしょうか。子ども部屋のごみ箱はどうでしょうか。私たちは、普段の生活の中で様々な行動をしています。そして、何かをやった後、何かが残ります。そのときの自分の『残り姿』はどうか、人の眼に自分の『残り姿』はどう映っているか、少しだけ気を配れる子どもたちに育てて欲しいと考えています。

今年度も残りわずかとなりました。新しい学校、学年につなぐために、これまでの言動を振り返る機会としてみましょう。そして、さわやかな残り姿となれるように、子どもたちへの声かけをお願いいたします。

